

●島根県保育三団体会議～「認定こども園」条例制定に対する要望～

6月30日、現在の最重要課題となっている「認定こども園」の島根県条例制定について、県担当課の説明により意見交換会がありました。午後には保育三団体会議で協議し、条例制定に向けた要望事項をまとめました。

主な要望項目の要点は、次のとおりです。

1. 認可保育所(園)と幼稚園の「幼保連携型」を基本として認定。
2. 地域を限定して認定。
3. 島根県の実情にあわせ、また特例措置として、現在の認可最低基準20名と同様に、保育に欠ける・保育に欠けない子同数の基準で認定。
4. 評価機関の設置に、保育関係者の参画。

これにより、後日調整し、島根県保育三団体の総意として島根県知事並びに島根県議会議長に要望書を提出する予定です。

詳しいことは、後ほどホームページにも掲載します。

● 島根青年会議の研修

6月30日、島根青年会議が、今年度第1回目の「“出前”研修」を開催しました。

今回は、出雲市にて行われ、たき保育園・出雲乳児保育所・ねむの木保育園・ねむの木夜間保育園を視察し、青年会議ならではの研修をしました。

また、来る9月16日(日)には、島根青年会議では浜田市石中央文化ホールにおいて「新沢としひこ研修会」を計画しています。参加資格は問いませんが、事前に申込が必要です。お誘いあわせて参加して下さい。

尚、詳しいことは、後ほどホームページでもご紹介する予定です。

◇ 全私保連中国四国ブロック会議

今年度第1回の中四国ブロック会議が、7月5日(水)岡山市において、中四国内各組織から30名の出席があり開催されました。

この会議では、主に「認定こども園」について、ブロック内各県組織の状況説明・報告がありましたが、この課題については、各組織とも県並びに議会等に要望するなど、何だかの運動を展開しています。

また、全国保育研究大会については、全国を6ブロックにわけて毎年開催されていますが、近年、中四国では第35回に広島、第39回島根、第46回岡山で行われており、平成21年には、第52回大会を中国四国ブロック内で開催することがまっています。このことについて協議した結果、各組織からの意見もあり、高知県経営協議会の承諾もいただいて、第52回は高知県で開催することになりました。

会議後には、全私保連常務理事の水上克己先生をお迎えし、「保育をめぐる情勢と子育てルネッサンス運動」について研修があり、構造改革・規制改革と変革する保育制度の流れや認定こども園についての経緯、子育てルネッサンス運動においては、「今なぜ必要か、保育の見直し、できることから始める活動」などについて、講演がありました。

◇全私保連「あおむし通信」会員ページ

活用していますか、全私保連ホームページ「あおむし通信」。

会員ページがあり、ログインすることで現在最重要課題の「認定こども園」をはじめ、さまざまな情報をみることができます。ぜひ訪問してみてください。